小４１　鹿児島市立伊敷小学校
令和６年７月１９日

令和６年度　　学校評価　自己評価書（１学期）

１　学校の重点目標

(1)「主体的・対話的で深い学び」の授業実践
(2)「心に届く生徒指導」の推進と基本的な生活習慣の確立
(3) 命の教育と健康でたくましい体つくり、安全教育の充実

２　課題と改善策

※　評価規準　　４・・・十分達成　　３・・・概ね達成　　２・・やや達成不十分　　１・・達成不十分

			１学期	
学習指導	1	学習のしつけ（机上整理、準備、聞く姿勢など）や学び方等の学業指導をしているか。	3.0	・「めあて→まとめ」を示すことで授業での学びを確実なものにし、振り返りの充実を図り、学力向上を目指したい。 〇ICT機器の活用をし、一人一人の学力に合わせた問題に取り組ませたり多様な意見に触れたりできるような工夫を心掛けた。 〇必要に応じてタブレットを活用し、授業で効果的に使用することができた。
	2	定着率の向上を図るため、「めあて」「まとめ」の整合性に留意し、授業の終末（ラスト１０分）の充実を図っているか。（「わからないを残さない」授業の実践）	2.8	
	3	問題解決学習・体験的な学習等を通して、子供の主体的・対話的学習の時間を確保し、指導の工夫をしているか。 （非認知能力：コミュニケーション能力、自己肯定感、達成感などの向上）	2.8	
	4	ＩＣＴ機器（タブレット、大型テレビ等）を効果的に活用しているか。（個別最適化）	3.1	
生徒指導	1	アンケートや教育相談、遊び、観察等通し、学級集団や子供たちの実態把握に努め、効果的な指導をしているか。（気になる子供についての情報共有、連携）	3.2	〇毎月のアンケートがタブレットで行うことで、小さな問題のうちに確認できた。 ・日々の言動、児童の様子の確認に気を付けていきたい。 △アンケート後の見届けや指導が大切であると感じる。 △掃除の後の後片付け（後始末）について、繰り返しの指導、見届けが必要。 ⇒月ごとに徹底事項を提示するなどして学校全体で徹底指導していきたい。
	2	「４あわせ運動」（挨拶・集まり・後片付け・安全）について、継続的に指導しているか。	3.1	
	3	日常の報告・連絡・相談により、問題の早期発見に努め、問題発生後の指導は適切に行っているか。	3.1	
保健指導	1	校内の諸施設・設備は、健康安全の視点から適切に処置しているか。	3.4	〇学校保健安全委員会の全体講話が現在の課題をテーマにしていてよかった。 〇節電や節水について取り組むことができた。 ・生活リズムや、歯の健康など、これからも引き続き呼びかけ等工夫したい。
	2	子供の危険予知能力を育成する指導や、非常災害時における連絡体制及び事故防止対策をしているか。	3.0	
	3	生活リズム表や歯磨き、疾病治療等について、継続的に指導しているか。	3.0	
	4	体力・運動能力調査の結果を基に、体力つくりを継続的に指導しているか。（一学校一運動『なわとび運動』の実践、長座体前屈・反復横跳び・ソフトボール投げの向上につながる運動）	2.9	
	5	学校版環境ＩＳＯや環境衛生に関する取組をしているか。（節電・節水・ごみの分別等）	3.1	

３　２学期に向けての取組

【学習指導】タブレットを効果的に活用し、個に応じた指導を実践する。

【生徒指導】「４あわせ運動」（挨拶・安全・集まり・後片付け）を意識し、全校で取り組む。

【保健指導】生活リズムや疾病治療など、継続して指導する。